

平成27年度 上田高等学校 定時制 前期終業式・後期始業式 校長講話

平成27年（2015年）9月30日（水）

おはようございます。

上田高校は2学期制を採っていますので、今日9月30日で前期が終わり、明日10月1日からは後期が始まります。

前期を振り返って、どうでしたか。

君たちそれぞれが、よくできたとか、もっとできたとか、いろいろな感想を持っていると思いますが、私から見て、君たちは、一言でいえば、本当によく頑張った前期ではなかったかと思います。

中学校までなかなか学校に来られなかったり、学校までは来られても教室に入れなかったりして悩んでいた生徒で、高校に入ってから学校に毎日来れるようになった人がたくさんいます。

それは、まずはその生徒本人が、「高校に入ったら、こうしたいんだ」という強い気持ちを持っていたということと、この学校や生徒の集団が、そういう気持ちを理解できる、とてもやわらかい雰囲気を持った集団だからだと思います。

授業中も多くの生徒が意欲的に勉強に取り組んでいると聞いています。後期には、授業を見て回りたいと思っています。

松尾祭では、一生懸命販売に参加しました。「校長先生、買って行ってください」と売り方がうまいので、つつい色々と買ってしまいました。

一生懸命班活動に取り組んで、大会で成果を出している生徒もいます。壮行会もいい雰囲気自主的に行われていました。

最近の生活体験発表会で、クラス代表になり、勇気を持って発表した生徒がいましたし、聴く側も、その思いを受け止めて、一生懸命聞き、一生懸命拍手をしていたと思います。

君たちは本当に頑張っていると思っています。

今、4年生と三修制の3年生は、いよいよ次の段階への進路を考え、実現する時期になりました。上の学校に進もうと考えている人、就職をしようと考えている人がいます。どうか自信を持ってください。君たちはこの上田高校で、本当によく頑張ってきました。

上田高校の校歌に、「われに至高の望みあり」とあります。今より高い自分を目指したいと考え、精一杯努力するということです。

「われに至剛の誇りあり」とあります。高校時代を精一杯過ごした。頑張った。力を付けた。その自信がある、ということです。

そして最後に「いざ百難に試みむ」とあります。より高いところを目指し、困難なことに自信を持って立ち向かっていってください。

君たちは、それができる生徒です。

さあ、明日から後期です。

これまで君たちに言ってきた、自分の頭で考えること、自分の頭で判断すること、自分の考えを持つこと、自分の意志で行動すること、周囲と協働して事を成し遂げること、こういったことを一層磨いてほしいと思っています。

歩みのスピードは一人一人違っていい。他の人に合わせる必要はない。自分のペースで一步ずつ前に進んでほしい。先程話した校歌の歌詞のように、「至高の望み」と「至剛の誇り」を持ち、「いざ百難に試みむ」の気概を持って、一緒に頑張りましょう。

期待しています。

終わります。